

市民活動 だより VOL.34

2026.2.16号

発行:田原市民活動支援センター(市役所企画課)

田原で市民活動に取り組む“ヒトたち”を紹介します!

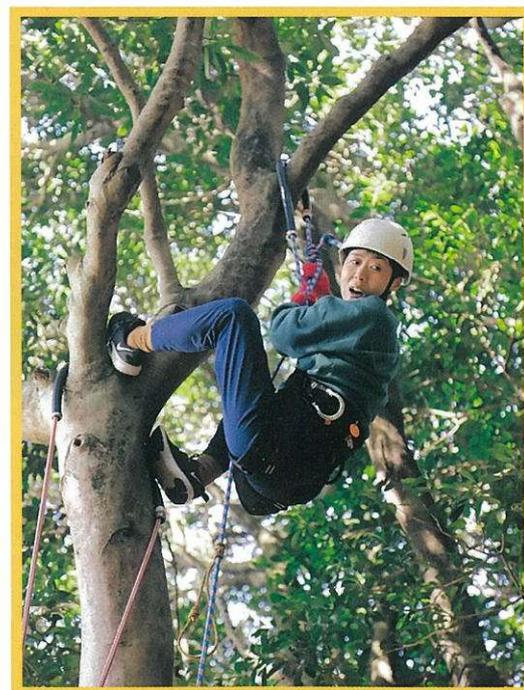
渥美半島環境活動協議会(CAEA)

CAEAは、2016年に、渥美半島で環境活動に取り組む団体・個人が集まって設立した協議会です。
「渥美半島の豊かな自然を未来に引き継ぐ」ことを目的に活動をしています。

具体的な活動としては、渥美半島の環境について学ぶ「講演会」・自然とふれあい、自然を楽しむ『大人の自然塾』・「渥美半島生態系ネットワーク」との共催で渥美半島の自然と歴史を訪ねる『バスツアー』・渥美半島の環境への思いを共有し、つながる場とする『フォーラム』・環境教育をすすめる学校を応援する『環境教育フォーラム』を行っています。

渥美半島の豊かな自然が未来につながることを願っています。

活動の様子



*連絡先 渥美半島環境活動協議会(CAEA)
090-9123-7983

令和7年度 「市民まちづくり講座」を開催しました。



田原市民活動支援センターでは、まちづくりについて考え、学ぶ機会として「市民まちづくり講座」を毎年開催しています。

令和7年度は、6月22日(日)に「東大を辞め渥美半島へ!?移住した理由」と題し、講師に鈴木さやか氏を迎え、渥美半島でのまちづくりについて学びました。

講演後には受講者同士でグループディスカッションを行い、地元のまちづくりに関わることや自らの活動に対する想いなど活発な意見が交わされました。

講師●鈴木さやか氏

ソーシャルデザイナー。東京農工大卒、東京大学大学院中退。

2020年に渥美半島に移住。「レイUPDATEプロジェクト」に関わる。

講座の内容

渥美半島に移住したのは、海あり山ありの自然の豊かさと食の鮮度と安全、美味しさに加えて、人との距離が近く、人の思いやりや助け合いが感じられ、そうした分かち合いがとても温かかったから。課題もあるが「私が何かできそう!」と思える関わり代(かかわりしろ)を強く感じた。

人との関わりの中で可能性が広がり、「さあやろう」というパワーが新しいまちづくりの活力になる。



受講者の感想

- 自分とは違った視点で自分の住んでいるところの魅力が聞けて良かった。
- 講師が自らの道を見つけ自由な発想で伸び伸びと活動していることが素敵。
- 渥美の魅力を改めて感じる機会になった。
- 地元を盛り上げたいと思っていたので刺激とアイデアをもらった。
- もっと多くの若者に聴いてもらいたい内容だった。
- これだけ真剣にまちづくりを考えている方がいることに感動した。自分にも何かできることはないかと考える良い機会となった。

第19回しみんのひろばを開催しました!



2月1日(日)に田原文化会館において「第19回しみんのひろば」を開催しました。

当日は、多くの参加者にまちづくりに関わる団体の活動を紹介し、交流することができました。

これからもまちづくりを楽しみ、団体の活動や人との繋がりを広げていきたいです。



令和7年度

補助金・委託制度を活用した団体事業をご紹介します!

田原市市民協働まちづくり事業補助金

育ち愛まるしえ実行委員会

育ち愛まるしえ

子育て世代が、地域の中でつながり、
支え合うコミュニティづくりのため
「マルシェ」を開催しました。



5つの事業で
活用がありました!

一般社団法人 ほっきょく

たはらマーブルタウン
2025

子どもたちが仮想都市であるマーブル
タウンでまちづくりを体験し、自ら
考え、学ぶ自主性を育むことを目的
としたイベントを開催しました。



子育てサークル ここしか
子育て世代のいのちの学び

お米や豚を育てて食べる体験会
を開催し、子どもたちが食べ物
へ感謝する気持ちを学びました。



Blue Wings

スマイルビーチクリーン
～海から始まる幸せ～

海岸清掃のほか、ごみとし
て捨てられるはずだったもの
をアクセサリ等に再利用
することで、環境意識を
高める活動をしました。



リ・ライト

アップサイクル
環境啓発プロジェクト
～リ・ライト～

「ごみを資源」として捉
え直すことを目的に、
廃油からのキャンドル
制作やワークショップ
を行いました。

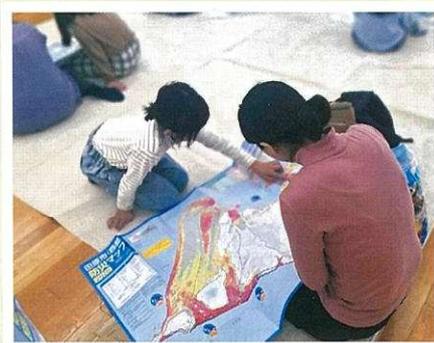


市民提案型委託制度【テーマ提示型】

YAROMAI

被災時におけるジェンダーリテラシー向上事業
「親子de防災キャンプ」開催

子どもと一緒に子育て世代や女性目線での防災を考え、お子さんに自分が大切な存在であることを体験を通して届けました。
災害時の非常食の調理、避難所生活におけるトイレなどのプライベート環境を確保することや、「性」や「いのち」の関わりを親子で一緒に学びました。



補助金を活用して「まちづくり」に取り組んでみませんか？

田原市では、市民の皆さんが実施する公益的な活動を支援するための制度を設けています。
ぜひ、あなたの市民活動にご活用ください。

田原市市民協働まちづくり事業補助金

※現時点での予定です。

通常枠(補助対象経費10万円を超える事業)

募集期間 ● 令和8年2月2日(月)～3月2日(月)

補助金額 ● 上限20万円、補助率2分の1

※企画審査会があります。

少額枠では、市民活動団体の活動に関連する講座の受講や先進事例の視察も補助対象となります！



少額枠(補助対象経費10万円以下)

募集期間 ● 令和8年2月2日(月)～令和9年1月15日(金)

補助金額 ● 上限5万円、補助率2分の1

※活動のための講座の受講、視察も対象となります。

新規団体枠

新たに仲間を募って立ち上がった市民活動団体を応援するものです。

募集期間 ● 令和8年2月2日(月)～令和9年1月15日(金)

補助金額 ● 上限7万円、補助率10分の10



設立満3年未満の団体さんを対象とした枠です！
皆さんの新しい活動を応援します！

市民提案型委託制度

市民活動団体が提案した地域の課題を解決するための事業を、市と団体が委託契約を結び、実施します。

市役所の仕事を
わたしたちで
やってみたいな！



テーマ提示型

令和8年度募集テーマ **男女共同参画啓発事業**

男女共同参画を市民の方に広く知ってもらうための講座の企画、開催やパンフレットの作成など

募集期間 ● 令和8年4月上旬～5月下旬(予定)

選考方法 ● 書類審査、非公開審査会

事業費 ● 上限13万円

自由テーマ型

「市の事業でこんなイベントがあればいいのに！」ツイッターやフェイスブックの活用講座の企画など、皆さんの自由な発想でご提案ください。

募集期間 ● 令和8年4月上旬～7月下旬(予定)

選考方法 ● 書類審査、非公開審査会

事業費 ● 上限100万円

編集後記

自分のスマートフォンにAIアプリをダウンロードしました。もっぱら我が家のワンコの写真を加工して楽しんでいますが、たまに、とりとめのない質問をしてみます。すると、あっという間に会話調で返答が来ます。その速さやそれっぽさに驚き、大変な時代になったものだと慌てつつ、頑張っって追いついていかなければと思う今日この頃です。(m)

市民活動だより VOL.34 2026年2月16日発行

【編集・発行】

■田原市民活動支援センター

開設場所: ①田原文化会館フリースペース(火曜日・土曜日/正午～午後4時)

②田原市役所企画課(平日/市役所業務時間内) ※祝日は除く

Eメール shiminkatsudo@city.tahara.aichi.jp

■田原市役所 企画課(南庁舎3階) TEL.0531-23-3507 FAX.0531-23-0669

Eメール kyoudou@city.tahara.aichi.jp



▲田原市民活動支援センターのホームページ